

全建が技術発表会 提案能力向上へ13事例

全国建設業協会（浅沼健一会長）は27日、東京・大手町の経団連会館で技術研究発表会を開いた。会員傘下企業の技術者の技術力と資質、プレゼンテーション能力の向上を狙いで、「2009年度建設工事における施工の工夫・改善事例集」に応募があった139事例の中から特に会員傘下企業の参考となると思われる13事例が選ばれ、各企業担当者が発表した。



冒頭、全建の星加隆夫土木委員会委員長が「近年、各発注機関では品質確保の観点から入札参加資格審査や総合評価方式の評価項目で継続教育（CPD）を採用するなど入札参加企業や配置予定技術者に対して技術力や資質の確保が求められるとともに、建設生産プロセスではプレゼンテーション能力の重要性も増してきている」とし、「われわれが修得しなければならぬ技術は必ずしも高度なものばかりでなく、個々の現場を熟

知し、創意工夫を積み重ねることによって生まれてくるものもある。そのようなたゆまない努力が技術や技能の向上で非常に大切なこと」あいさつした写真。

同発表会は、4年ぶり2回目、導入のしやすさ、汎用性、創意・工夫度、効果、プレゼンテーションなどを総合的に判断し、最優秀賞、優秀賞、特別賞などを決める。

発表事例は次のとおり（①会社名②発表者③所属都道府県協会④工種、敬称略）。

工例①①岩田地崎建設②浅川勝貴③④同。
▽運搬経路危険マップ①丸本組②高橋勉③宮城④建築。
▽乾土促進のための導水路設置①①同②佐々木昭一③同④土木。
▽張芝はく離防止のための節付き目串の使用①①村田工務所②小高卓也③④同。
▽ボケット黒板①①山形建設②小野浩人③山形④建築。
▽濁水期における河川内橋脚耐震補強工事の施工速度の向上①①大量建設②古賀順③東京④土木。

▽炭を使用し仮排水および現場内処理水の水質浄化①①丹澤建設工業②石原康之③山梨④同。
▽鉄骨工事における土間先行工法による工期およびコストの圧縮①①新潟藤田組②浅野雄太③新潟④建築。
▽夏季施工における床版コンクリート打設時の工夫①①同②鈴木忠行③同④土木。
▽河川締切矢板内の軟弱帯水地盤の掘削①①長崎中央建設②松山龍一郎③長崎④同。

▽ウェブカメラを活用した橋梁撤去工事①①植村建設②岡崎力③同④土木。

▽夏季快適エコハウス（事務所・休憩所）①①田中組②舟見一広③④同。
▽立坑の埋め戻しのVE提案施